

講義レジュメ

内容・テーマ
生涯学習・社会教育史

講師 山梨 あや

期 日 2016年7月22日

1. 戦前期日本における社会教育
 - 社会教育概念の萌芽と通俗教育（明治期）
 - ・ 民衆の啓蒙と教化
 - ・ 「社会教育」という語について
 - 通俗教育から社会教育へ（明治末～大正期）
 - ・ 通俗教育への関心の高まり
 - ・ 文部省による本格的な社会教育行政の展開
 - 第二次世界大戦下の社会教育
 - ・ 国民教化行政、文化・思想統制行政の一環としての社会教育

2. 戦後日本における社会教育の展開
 - 「民主化」のための社会教育
 - ・ 公民館の設置とその役割
 - ・ 指導・助言行政としての社会教育行政
 - ・ 戦後社会教育行政の転換点：東京オリンピック
 - ・ 1950～60年代にかけての共同学習、生活記録運動の展開
 - 「生涯教育」論の紹介と受容
 - ・ 生涯教育から生涯学習へ
 - ・ 日本特有の課題への対応策としての生涯学習

3. 海外における生涯学習とその問題

－「生涯教育」論の紹介とその展開（1960～70年代）

- ・ユネスコにおける「生涯教育」論の提唱（1965年、P.ラングラン）
- ・OECDにおける「リカレント教育」の提唱（1973年）

－冷戦後の社会と「生涯学習」論の展開

- ・ユネスコにおける1990年以降の生涯学習論（1996年、ドロール・レポート）
- ・OECDにおける「万人のための生涯学習の実現」（1996年）

－海外における生涯学習の特徴とその課題

- ・ヨーロッパ諸国における生涯学習
- ・アメリカにおける生涯学習
- ・生涯学習における今後の課題

〔参考文献〕

- ・鈴木眞理・松岡廣路編著『社会教育の基礎』2006年、学文社
- ・鈴木眞理・永井健夫・梨本雄太郎編著『生涯学習の基礎』2011年、学文社
- ・鈴木眞理『新時代の社会教育』2015年、放送大学教育振興会
- ・澤野由紀子「生涯学習社会における学習」坂野慎二・藤田晃之『海外の教育改革』（2015年、放送大学教育振興会）所収、pp.246-260.
- ・P.ラングラン『生涯教育入門』（再版）1984年、全日本社会教育連合会
- ・E.ジェルピ『生涯教育：抑圧と解放の弁証法』1983年、東京創元社